

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 6 年度)

施設の名称	東大阪市立障害児者支援センター			指定期間	4	年度～	8	年度	
				指定の方法	単体施設を指定管理				
施設所管課	子どもすこやか部 子育て支援室 子ども家庭課			連絡先	06-4309-3194				
設置目的	障害児及び障害者の福祉の増進を図るとともに、その健康の保持に寄与する。								
施設内容・業務内容等	福祉型及び医療型児童発達支援センターとして行う障害児通所支援事業、生活介護事業、短期入所事業、自立訓練事業、就労移行支援事業、就労定着支援事業、基幹相談支援センター事業、障害児相談支援事業、特定相談支援事業、診療所(障害児及び障害者のための医療の提供)などの事業のほか、障害児者支援センターの施設管理及び財産管理など。								
指定管理者	社会福祉法人 東大阪市社会福祉事業団			連絡先	072-975-5700(事務局)				
人員体制	正規職員	119	人	パート・アルバイト	49	人	その他	38	人

2 管理運営状況等

年度			実績						今年度(予算)		次年度(見込)	
			令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度			
管理形態			指定管理		指定管理		指定管理		指定管理		指定管理	
供用(開館)日数			344		344		344		344		344	
指定管理委託料(千円)			1,144,668		1,125,577		1,155,224		1,318,030		未定	
利用 状 況	1	はばたき園 延べ利用者数(人)	17,183		17,876		16,950		補足 説明	第一はばたき園定員110名 第二はばたき園定員 40名		
	2	基幹相談支援セン ター相談件数(件)	8,039		6,842		6,481		補足 説明			
	3	文化・スポーツ教室 及び気づき・感じる・ 考える「交流体験」の 参加者数(人)	3,696		1,754		824		補足 説明			

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示): S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が75%以上、
B=×がなく75%未満～50%以上あるいは×が1個で「得点」が75%以上、
C=×が2個以上あるいは×が1個で「得点」が75%未満
「最終評価」(任意決定): 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点		施設担当課のモニタリング	
		個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点	施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	S	平成29年度より障害児者一貫の施設として障害児者支援センターが開設され、指定管理者が今まで培ってきた障害児者事業のノウハウや高度な専門知識を活用し、効果的・効率的な管理運営が行われている。 災害等発生時における訓練・準備等が実施されており、市民の安全性が確保できる取り組みを行っていることについて評価する。 今後も有事の際に施設として何ができるかを市と共に検討を重ねていきたい。
B 管理・運営能力	人員・施設の管理、会計処理等(再委託業務を含む)が適正に実施され、快適に利用できる施設環境が整備されているか？	S	業務に必要な人員は配置されており、施設の管理・会計処理等についても滞りなく実施されている。 衛生面・防犯面についても対応策が講じられている。
C サービス	平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	昨年度取り組めていなかった外国人市民向けへの利便性向上について、翻訳アプリを導入するなど可能な限り展開されている。ただし、一部マニュアルについて不備があるため、早急に対応いただきたい。 障害児者支援センターは、障害児者やその関係者以外も利用することができるので、一般市民の方の利用率向上についても進めていただきたい。
D 市民視点	市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S	利用者アンケートを実施する他、苦情解決BOXが設置されていたりと、利用者から幅広く意見を収集できている。利用者からの意見を踏まえ、今後もよりよいサービスの提供に繋げていただきたい。
E 効果・効率性	施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	指定管理者がもつ障害児者事業のノウハウや、高度な専門的知識を持つ職員のライフステージに応じた障害児者一貫の総合的な支援が、障害福祉関係機関や病院、地域とのネットワークの中核的な役割を果たしている。 物価高騰により管理経費の縮減については難しい状況ではあるが、可能な限り業務の効率化・事業見直し等を行うことにより、縮減に取り組んでいただきたい。
F 法令等遵守	法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S	法令及び各種規則等について理解し、遵守できている。 今後も積極的に障害者雇用を進め、今以上に社会的責任を果たせるよう取り組んでいただきたい。
課題への対応 今後の取組		最終評価 (任意設定) S	障害児者だけでなく、一般市民にも愛される施設となっていきたい。 そのためには、利用者ニーズを分析し、より良いサービスづくりに活かしていくことは元より、地域のニーズや社会情勢の変化に対応していただきたい。